

2 目標達成計画

作成日：平成 22年 4月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	65	運営推進会議も回数を重ねるごとに、交流も増え、委員の方々より貴重なご意見などを頂いているがその反面、同じメンバーで行うことにより、会議自体が形式的になってきている現状がある。	現在、地域包括支援センター、自治会代表、地域医療従事者、家族会でのメンバー構成であるが、鉄輪在住の職員などにも参加してもらい、更なる地域との連携を行いやすい状態を作り、インフォーマルサービスの発掘を行う。	①職員1名以上に地域運営推進会議に参加してもらい、地域との連携に活躍してもらおう。 ②行政にも運営推進会議の依頼文の送付を行う。 ③地域の行事などへの参加を今まで以上にやっていく。	6ヶ月
2	10	家族会等は年に2回行い、その都度ご利用者のご意見などを聞いているが、家族の方で参加できていない方もいる。	参加できていない家族などは、議事録などを送付したり、個別に報告を行ったりする。	①家族会会員全員に議事録の送付を行う。 ②面会時などには、個別に苦情、相談の確認を積極的に行う。	3ヶ月
3	20	入居者の主家族に対しては、広報紙の送付、各種行事への参加などを呼びかけているが、遠方の親戚などへの関係の維持などはできていない方もいる。	入居者によっては、手紙などを書いたり、手紙が来てもすぐに忘れてしまう入居者の方々もいらっしゃる、そのような入居者には職員が働きかけて、手紙、電話などの機会を作る。	①手紙、小包などが来た場合は、職員が連絡する事が多いが、本人にも手紙、電話などをかけてもらう。	1ヶ月
4	29	施設の立地条件もあるが、近隣の方々寄りやすい環境ではない。限られた社会資源の活用のため利用者の方々を地域に出て行ってもらう、地域住民との関係を作れるように働きかける。又、地域住民にも認知症高齢者の理解を深めてもらえるように事業所から働きかけていく。	①町内会の行事などの把握を行い、入居者が出来る行事等には積極的に出るようにする。 ②連絡協議会などを通し、広く地域住民などにも認知症の理解を深められる勉強会などを開催する。	①町内の行事の把握を行う。 ②町内会長、老人会会長などとのコミュニケーションを取り、入居者が安全に行事に参加できるような働きかけを行う。	12ヶ月
5	35	平成22年3月に札幌市のグループホームでの火災で、入居者の方々が7名亡くなった、大観苑でも日頃から訓練を行っているが、更なる訓練の強化、防火設備の確認が必要。	①夜間避難訓練の強化 ②全職員に対しての防火設備の使用法周知徹底。 ③防火器具の使用法の習得	①避難訓練は実践的に行う。特に夜勤体での訓練を2ヶ月1度以上の割合で開催する。 ②職員に対してのマニュアルの配布。マニュアルの配布だけではなく、職員会議などで見直す機会を行う。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。